

東海地方非常通信協議会 被表彰者一覧（平成13年度以降）

年度	氏名	所属	事績の概要	推薦者
平成13年度	宇野 敏夫	名古屋市消防局 防災部防災室 上級主任	永年勤続 多年にわたり名古屋市の防災行政無線及び消防無線の整備並びに運用管理に従事し、その卓越した識見をもって非常災害時における情報伝達網の整備促進を図るなど非常通信協議会の発展に多大の貢献された	名古屋市
	社団法人日本アマチュア無線連盟 愛知県支部		平成十二年九月に発生した東海地方の集中豪雨災害に際し、関係自治体内にアマチュア無線局をいち早く設置して広域的な通信を確保し災害の応急復旧活動に多大な貢献された	JARL東海地方本部
	青木 文男	アマチュア無線家	平成十二年十月九日に発生した南アルプス聖平遭難事故に際し、アマチュア無線による救助要請を受信するや直ちに警察に通報するとともに救助されるまでの間遭難者を励ますなど救出に貢献された	JARL東海地方本部
	佐藤 六郎	中部地方建設局 河川部電気通信課長	永年勤続 多年にわたり建設省の通信部門に在職され、その卓越した識見をもって東海地方非常通信協議会の運営強化に協力、し各種通信訓練を積極的に遂行するとともに非常災害時における情報伝達網の整備推進を図るなど、非常通信協議会の発展に多大の貢献された	中部地方整備局
	小野 光男	静岡県総務部 防災通信管理室 主幹	永年勤続 多年にわたり静岡県の防災行政無線関係業務の重責者として在職され、その卓越した識見をもって東海地方及び静岡地区非常通信協議会の運営強化を図り各種通信訓練の計画・遂行に尽力するとともに、非常災害時における情報伝達網の整備推進を図るなど、非常通信協議会の発展に多大の貢献された	事務局
平成14年度	岐阜県地域県民部 危機管理室		長年にわたり各種災害時における非常通信実施の確保に努めるとともに、にその重要性を深く認識し非常通信の啓発指導に尽力するなど、東海地方非常通信協議会の運営に多大の貢献をされた	事務局
	静岡県防災局 防災通信管理室		長年にわたり各種災害時における非常通信実施の確保に努めるとともに、その重要性を深く認識し非常通信の啓発指導に尽力するなど、東海地方非常通信協議会の運営に多大の貢献をされた	事務局
	三重県地域振興部 防災チーム		長年にわたり各種災害時における非常通信実施の確保に努めるとともに、その重要性を深く認識し非常通信の啓発指導に尽力するなど、東海地方非常通信協議会の運営に多大の貢献をされた	事務局
平成15年	高木 康次	中部管区警察局 愛知県通信部機動通信課 課長補佐	永年勤続 多年にわたり警察庁の通信部門に在職され、その卓越した識見をもって東海地方非常通信協議会の運営強化に協力し、各種通信訓練を積極的に遂行するとともに大規模災害等の発生時には迅速に現地指揮本部設置に尽力するなど、災害時における非常通信の運営体制に大きく貢献された	中部管区警察局

年度	氏名	所属	事績の概要	推薦者
度	尾崎 英伸	中部管区警察局 情報通信部機動 通信課 総合監視第1兼 第2専門職	永年勤続 多年にわたり警察庁の通信業務に従事され、その卓越した識見をもって東海地方非常通信協議会の運営強化に協力し、各種通信訓練を積極的に遂行するとともに警察官等に通信訓練の指導を実施するなど、東海地方非常通信協議会の円滑な運営に大きく貢献された	中部管区警察局
平成16年度	押手 満弘	前中部地方整備局 河川部電気通信課長	永年勤続 多年にわたり国土交通省中部地方整備局の電気通信部門に在職され、水防道路用通信設備の整備拡充や維持管理に努め、その卓越した識見をもって東海地方非常通信協議会の運営や各種非常通信訓練を積極的に取り組むとともに、大災害時等において現地の通信確保に万全を尽くすなど、非常通信の円滑な実施に多大な貢献をされた。	中部地方整備局
	名古屋第二赤十字病院 アマチュア無線クラブ		阪神淡路大震災の教訓を生かして指定された災害拠点病院としての責務を認識し、非常災害時においてアマチュア無線局を活用できるよう多年にわたり愛知県総合防災訓練や社団法人日本アマチュア無線連盟愛知県支部主催の非常通信訓練に積極的に参加するなど、非常災害時における通信の確保に尽力された	JARL東海地方本部
	小澤 邦雄	静岡県防災局技監兼防災情報室長	多年にわたり静岡県の防災関係部門に在職され、卓越した識見をもって国が主宰する防災情報システムに関する検討委員として各種の防災情報システムの構築支援等に尽力されるとともに、防災対策の推進を図るため防災業務に携わる関係者への指導育成や防災情報の周知・啓発活動を献身的に推進するなど、国民の防災意識の向上に多大な貢献をされた	事務局
平成17年度	澤之向 公人	岐阜県飛騨市宮川振興事務所管理課 課長補佐	平成16年10月20日、台風23号の豪雨により宮川が氾濫し、変電所の浸水による停電、国道360号線の道路流出、電話ケーブルの切断等が発生した旧宮川村（岐阜県）では、電話、携帯電話が不通となった このため、NTT及び東海総合通信局から衛星携帯電話を緊急に借用し、関係機関に配備して、災害情報が円滑に行えるよう尽力し、災害時の通信の確保に多大な貢献を行った	岐阜県
	杉島 泰宏	国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所上席専門職	永年勤続 昭和44年8月、建設省中部地方建設局丸山ダム管理事務所の電気通信職員として採用され、以後、水防・道路用通信設備の整備、維持管理に貢献した。また、非常通信協議会の窓口、電波法令の指導等、永年にわたって非常通信の運営と発展に多大なる貢献を行った	国土交通省
	岐阜県地域県民部危機管理室	岐阜県	平成16年10月20日、台風23号の豪雨により宮川（岐阜県）が氾濫して、変電所の浸水による停電、国道360号線の道路流出、電話ケーブルの切断等が発生し、旧宮川村（岐阜県）では、電話、携帯電話が不通となった。このため、同県は東海総合通信局から衛星携帯電話17台を緊急に借用し、旧宮川村へ緊急輸送するなど、災害情報が円滑に行えるよう尽力し、災害時の通信の確保に多大な貢献を行った	事務局

年度	氏名	所属	事績の概要	推薦者
	株式会社 西組		平成16年9月29日、台風23号の豪雨により旧宮川村（三重県）内の複数箇所において土石流が発生し、道路の寸断、電話ケーブルの切断、配電線の切断等が発生し、旧同村大杉谷地区が孤立状態となった そのため、同社は業務用無線機を使用して、大杉谷地区の安否情報、被害情報等の伝達などの非常通信を実施し、住民の安全確保に多大な貢献を行った	三重県
平成18年度	西尾市総務部総務課防災対策室		平成16年2月にデジタル同報系防災行政無線を開設し、データ伝送、画像伝送、双方向通信機能を東海管内で初めて整備して、非常通信協議会における非常通信の高度化の促進に尽力し、非常通信協議会の活動に多大な貢献をされた	愛知県
	桑名市危機管理部防災対策課		平成14年3月に260MHz市町村デジタル移動系を東海管内で初めて整備し、デジタル防災行政無線セミナーにおいて活用事例や今後の計画などを講演するなど、先導的な役割を果たし、デジタル化の推進と非常通信協議会の活動に多大な貢献をされた	三重県
	中部電力（株）静岡支店		東海地方非常通信協議会主催の非常通信訓練に積極的に参加するとともに、同支店独自で大規模地震を想定した独自の非常通信訓練を実施や非常通信ルートの設定に尽力するなど、非常通信協議会の活動に多大な貢献をされた	中部電力（株）
平成19年度	杉村 茂	前中部地方整備局道路部地域道路調整官（元同局企画部情報通信技術課長）	永年勤続 平成7年1月の阪神大震災、平成12年9月の東海豪雨、平成18年の岐阜県東横山地滑り災害において、被災状況の把握や復旧作業のため通信設備の調整に尽力し、非常災害時における通信の確保に多大な貢献をされた	国土交通省中部地方整備局
	三井 誠一	愛知県防災局災害対策課主査	永年勤続 平成12年9月の東海豪雨では、被災地となった旧西枇杷島町へ職員を派遣するとともに、現地の状況把握と通信網の確保に尽力し、非常災害時における通信の確保に多大な貢献をされた	愛知県
	白川村総務課		白川村は96%が山林で冬期は雪崩等により孤立する恐れがあったので、非常通信訓練に積極的に参加するとともに、地方非常通信ルートの見直しを積極的に行うなど、非常通信協議会の活動に多大な貢献をされた	岐阜県
平成20年度	愛西市総務部総務課		非常通信訓練に積極的に参加すると共に県域を越えた非常通信ルートの確立に向けて尽力するなど東海地方非常通信協議会の運営と活動に多大な貢献をされた	愛知県
	鳥羽市総務課防災対策室		三重県とのデジタル防災行政無線運用協定の締結や神島上水道破損事故では県と連携して復旧作業にあたって非常通信の確保に尽力された	三重県

年度	氏名	所属	事績の概要	推薦者
平成21年度	御前崎市防災課		御前崎市は、平成20年3月に静岡県下で初めて260MHz帯のデジタル移動系及びデジタル同報系防災行政無線の双方を整備し、デジタル無線の普及に先進的な役割を果たし、非常通信協議会にとっての非常通信の高度化、効率化の促進に大きな役割を果たしている また、同市防災課は、毎年9月に行われる静岡県総合防災訓練をはじめ各種防災訓練、月1回以上の自主防災組織と連携した無線通信訓練にも取り組んでいるほか、平成19年度に実施した全国非常通信訓練及び東海地方独自非常通信訓練にも積極的に参加するなど、東海地方非常通信協議会の活動に大きな功績があった	静岡県危機管理局通信管理室
平成22年度～26年度	該当なし			
平成27年度	中部地方整備局 情報通信技術担当職員		御嶽山噴火災害に際し、台風の接近により二次災害が予想され緊急を要する中で、火口付近のリアルタイム映像や周辺河川における土石流の監視映像を地方自治体をはじめとする関係機関に配信するなど、非常災害時における通信の確保に尽力し災害復旧活動に多大な貢献をされた	中部地方整備局
	西條 彰芳		愛知県警察本部地域部通信指令課に在職中、その卓越した識見をもって東海地方非常通信協議会の運営や各種非常通信訓練を積極的に取組むとともに、東日本大震災以降、喫緊の課題であった非常通信ルートの見直しに際し、愛知県のすべての警察署を多層化するなど円滑な非常通信の確保に向けて尽力し、当協議会の活動に多大な貢献をされた	愛知県警察本部
平成28年度～29年度	該当なし			
平成30年度	山田 浩		中部地方整備局に在職中、その卓越した見識で当協議会に積極的に参画されるとともに、身をもって体験された御嶽山噴火災害の救助活動を通して、強固な情報通信網と日常からの多元的非常通信訓練の重要性を内外へ分かりやすく解説・紹介されるなど、非常災害時における通信の確保に尽力し、当協議会の活動に多大な貢献をされた	中部地方整備局
令和元年度～2年度	該当なし			
令和3年度	中部管区警察局 岐阜県情報通信部 機動警察通信隊		「令和2年7月豪雨災害」において、現場の最前線に立ち入り、数時間にわたって映像伝送を行うとともに、ヘリコプターからの映像伝送の受信を行うことで岐阜県内の被害状況をくまなく把握することができた。また、これらの映像は、岐阜県警察本部、岐阜県災害対策本部に配信するとともに警察庁を經由して、首相官邸にも配信されたことで、現場状況の把握及び災害警備活動の指揮に大きく貢献した。	中部管区警察局 情報通信部長

年度	氏名	所属	事績の概要	推薦者
令和4年度	株式会社ドコモ C S 東海		豪雨により令和3年7月3日に静岡県熱海市伊豆山で発生した土石流の二次被害を回避するため、国土交通省において緊急的に携帯電話回線を活用したカメラを設置した。熱海市内の携帯電話回線は、土石流による被害に加えて、自衛隊、警察、消防による捜索活動や報道機関により、携帯回線がひっ迫し、不安定な状況であった。 同社は国土交通省の画像伝送を安定運用可能な状態とすること、またキャリアSIM の貸与など、災害現場の通信の確保に多大な貢献をした。	国土交通省中部地方整備局
令和5年 ～6年度	該当なし			